

様式第2号（その1）（省令第60条第1項第3号、第4号関係）（用紙）

破碎業の事業計画書及び収支見積書

○本例はあくまでも一つの記載例
であるので、各自のものを記載する
こと。
○使用済自動車等を不適正に大量
に保管している場合は、別に詳細な
書類の提出が必要です。

平成16年7月1日 現在作成

- 1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

解体業者から解体自動車を引取り、シュレッディングマシンで粉碎後、鉄、非鉄、ASRに分別する。一部解体自動車をプレスして、鉄スクラップ原料とする。分別・処理した物品の扱いは、次のとおり。					
○鉄・・・・・・電炉メーカーに売却 輸出業者に売却					
○非鉄金属・・非鉄金属商社に売却					
○ASR・・・・自動車メーカー等の指定する引取場所に引渡					
（フロー概略図を添付（省略））					
業務時間	8：00～17：00	従業員数	20人	休業日	日曜日・祝祭日

- 2 解体自動車等の引取実績及び計画

年 度	13年度実績 （3年前）	14年度実績 （2年前）	15年度実績 （1年前）	許可取得後 の年間計画
引 取 台 数	20,000 台	22,000 台	24,000 台	25,000 台
主な引取先	解体業者等	解体業者等	解体業者等	解体業者等

- 3 破碎実績（圧縮のみ含む）

年 度	13年度実績 （3年前）	14年度実績 （2年前）	15年度実績 （1年前）
年間処理実績	20,000 台	22,000 台	22,000 台
年間稼働日数	280日	280日	280日
平均処理実績	71台/日	79台/日	79台/日

4 破碎等能力

1 日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
100 台／日	280 日	28,000 台

5 保管の状況

解体自動車		A S R	
保管量の上限	1,200 台	保管量の上限	7,000 m ³
現在保管量	1,000 台	現在保管量	22,000 m ³

6 年間収支見積書

項 目		前年度 (15 年) (決算月 (3 月))		今年度の見込み (決算月 (3 月))	
		年度 (千円)	(1 台当) (円)	年度 (千円)	(1 台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)	276,000	12,000	524,000	20,000
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)	△120,000	△5,000	75,000	3,000
その他の経費	ウ	269,100	11,700	235,800	9,000
うち廃棄物処理委託費	エ	92,000	4,000	26,200	1,000
営業利益	オ=ア-イ-ウ	126,900	5,517	213,200	8,137
営業外損益	カ (主に支払利息(注))	△3,000	△130	△3,000	△115
経常利益	キ=オ+カ	123,900	5,387	210,200	8,023
解体自動車等年間引取台数 (台)		24,000		25,000	
解体自動車等年間処理台数 (台)		23,000		26,200	

(参考)

	前年度末	現 在
負債総額 (年度末残高) (千円)	100,000	100,000

(注) 1 「1 台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

2 使用済自動車等購入費は購入費はプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること。

3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。